

# 「かかりつけ薬剤師・薬局」を持ちましょう！

「かかりつけ薬剤師・薬局」とは、どの病院や診療所で処方箋をもらっても、いつも決まって薬の調剤を受けたり、相談のできる薬剤師・薬局のことです。

体質や生活習慣などを把握することにより、ひとりひとりに合わせた飲み方や注意点などをアドバイスしてくれます。気軽に安心して相談できる「かかりつけ薬剤師・薬局」を持ちましょう。



## かかりつけ薬剤師・薬局の役割

### 薬歴(薬の服用の記録)をつくる

薬歴には、現在服用している薬のほか、体質やアレルギー歴や副作用などが記録されています。

### 医療・介護・福祉と連携する

かかりつけ医をはじめとした関係機関と連携し、地域で継続性のある適切な医療等を受けられるように対応してくれます。

### 薬の重複投与や相互作用・副作用・残薬などを確認する

- 複数の医療機関で処方を受けている場合
    - ・同じような効果の薬が重なっていないか？
    - ・薬の飲み合わせにより効果が変わってしまうことはないか？
  - 飲み残しの薬はないか？
  - 市販の薬を購入する場合
    - ・普段飲んでいる薬の効果が変わってしまうことはないか？
  - 食べ物・飲み物と一緒に飲むことで効果が変わってしまうことはないか？
- などすべての薬をチェックし、健康を守るための手助けをしてくれます。

### いつでも相談にのる

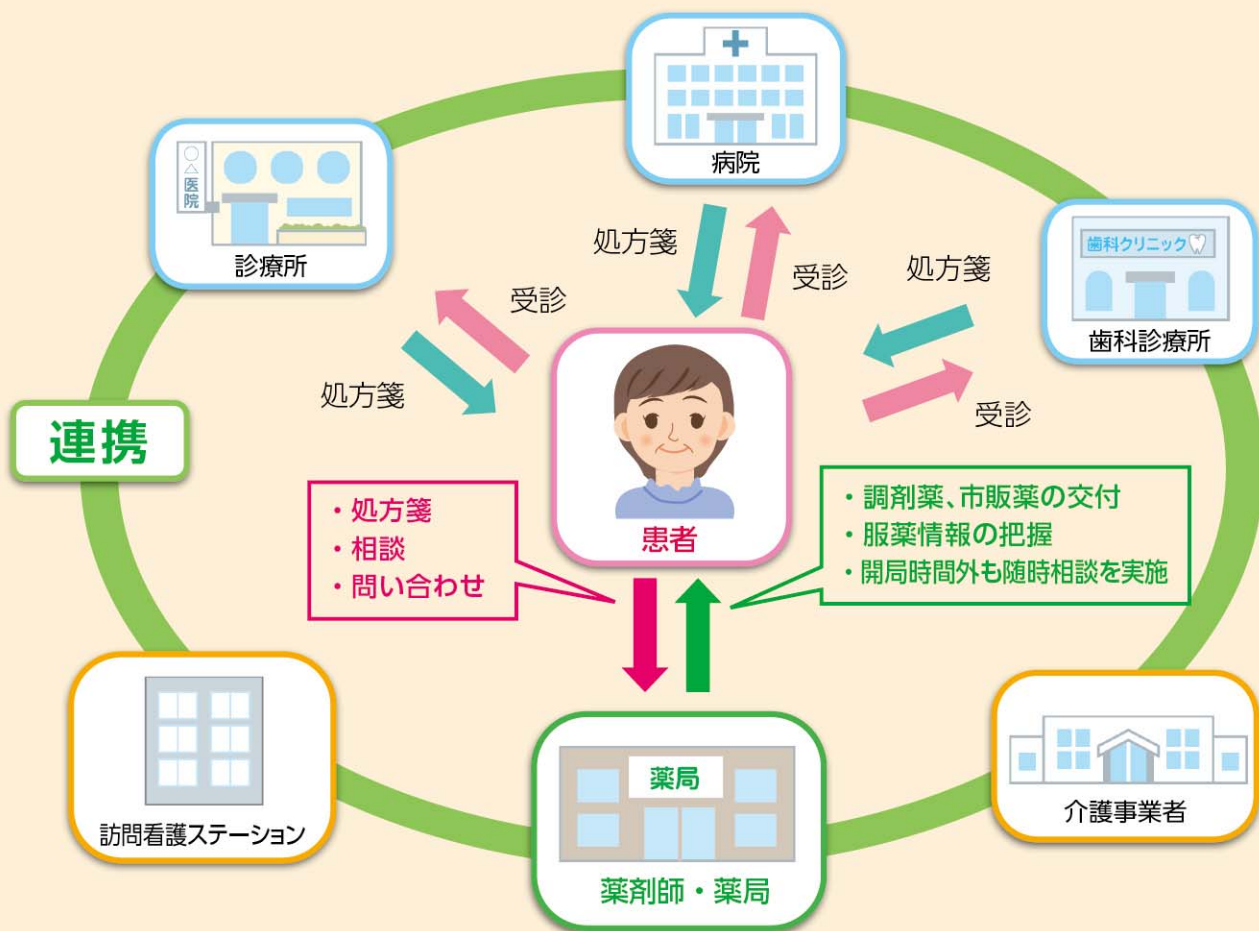
開局時間外でも、薬の副作用や飲み間違い、服用のタイミングなど薬に関する相談や自宅・入居施設での相談（訪問薬剤管理指導）に対応してくれます。

### わかりやすく説明する

生活習慣や体質、薬の服用歴を踏まえて、ひとりひとりにあった薬の服用などについて説明してくれます。ジェネリック（後発）医薬品の使用に関する相談についても対応してくれます。



## 「かかりつけ薬剤師・薬局」のイメージ



## 「お薬手帳」を携帯しましょう

「お薬手帳」は、今までに服用したり、使ったりした薬の名前や使用量、過去に経験した副作用などを継続的に記録するための手帳です。医師や薬剤師にお薬手帳を見せることで、同じ薬が重なっていないか、また飲み合わせ等の確認ができ、安全性が高まります。災害時や緊急搬送で医療機関を受診するときも、適切な処置が円滑に行いやすくなります。常に携帯し、有効に活用しましょう。

### ☆ お薬手帳の活用方法 ☆

- ① 病院や診療所、歯科診療所、薬局に行ったときには、毎回見せましょう。
- ② 薬局で市販の薬を買った場合にも手帳を見せましょう。
- ③ 薬について、わからないことや聞きたいこと、検査値なども手帳に記入しましょう。
- ④ あなたがもらった薬の記録になりますので、常に携帯しましょう。

